

學會錄事

昭和30年度日本水産學會年會第3日目の4月5日、東京都芝伊皿子金海苔會館に於て、『アマノリ類の *Conchoecelis* に關する座談會』を開催した。出席者は名譽會員三宅駿一博士を始め40名に達し、非常な盛會であつた。午後6時30分開會、山田會長の挨拶の後、直ちに會食・懇談に入り、食後、簡単な自己紹介を行つた。その席上、會員佐藤忠勇氏から三重縣下に於てワカメの胞子付けに成功された話、また三輪知雄博士からは、肝臓の最新流行藥 Methionine に相當する成分が海藻類の体中にも含まれているとの耳よりなニュースの披露があつて懇談を閉じ、午後7時過ぎ、時田副博士司會の下に座談會に移つた。

座談會に於いては植田三郎博士から『わが國に於けるアサクサノリ研究の今迄の経緯に就いて』、又新崎盛敏博士からは果胞子の授精の問題、單相と複相の糸狀体が報告されている事實、糸狀体による胞子付けの問題などを擧げて、今後、核學的並びに生態學的にこれ等の諸點を究明すべきであると述べられた。

又藤山虎也氏其他から、葉体上に生ずる所謂單胞子と糸狀体上の胞子の名稱を明確に致し度との希望があつたが決定には至らなかつた。かくて以上の諸問題をめぐり、多數の極めて活潑な意見や希望が出されたが、午後9時過ぎ、一應座談會を打ち切り、再び懇談に入つて午後10時過ぎ散會した。尙この座談會の詳細な記録は、改めて本誌に掲載される豫定である。

昭和30年5月15日印刷

昭和30年5月20日發行

禁 轉 載

不 許 複 製

編集兼發行者 中 村 義 輝

星城市新見町北海道大農理學部海藻研究所

印刷者 山 中 幸 三

札幌市北一條西三丁目二番地

發行所 日 本 藻 類 學 會

札幌市北海道大農理學部植物學教室内
換 替 小 冊 13308

